



平成28年7月22日 株式会社 阿波銀行

「阿波の偉人伝 長井長義」の発刊について ~創業 1 2 0 周年記念活動®~

阿波銀行(頭取 岡田好史)は、平成28年7月29日に「阿波の偉人伝 長井長義」を発刊いたしますのでお知らせします。

「藤井眞信」「賀川豊彦」に続く、シリーズ第三弾となる今回は、江戸時代末期に阿波藩で生まれ、日本に西洋薬学を伝え「日本薬学の創始者」と称される長井長義先生の人生を史実にもとづき、徳島大学名誉教授 渋谷雅之氏にご執筆いただきました。

当行では、今後とも地元徳島の地域文化の向上や青少年の育成支援活動を通して、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を応援してまいります。

記

【概要】

1、著書名 「阿波の偉人伝 長井長義」

2、著者名 渋谷 雅之 略歴:高知県中土佐町生まれ

徳島大学薬学部卒業

京都大学大学院薬学研究科修了

徳島大学名誉教授

著書:「長井長義長崎日記」

「長井長義ベルリン通信」

3、発刊日 平成28年7月

4、発刊部数 5,000部

5、その他 · A5判 全296頁

• 非売品

・県内の官公庁・学校・図書館等へ寄贈

6、長井長義略歴・1845年、現徳島市中常三島町の阿波藩医の家に生まれる

・医学の修得のために、長崎に留学し蘭学を修め、ベルリン 大学に入学したが志望を化学(舎密)に変える

- ・日本に戻ると現東京大学教授の任に就き、最新の化学、薬学教育・研究システム を構築すべく全力を傾注
- ・現在でも風邪薬などに用いられるエフェドリンを発見
- ・日本の化学の道を拓き、薬学の礎を築いたことから、「日本薬学の創始者」と称さる
- ・その他、徳島大学薬学部の淵源となる学校の創設や製藍伝習所の設立など、地元 徳島の発展にも貢献

以 上

阿波銀行 経営統括部